

認知症に関する活動計画(概要)

兵庫県作業療法士会では、特設委員会である認知症対策委員会を中心に関連する活動を展開している。2026年度の委員会活動は例年実施していた研修会を実施せず、家族の会との連携・認知症に関わる作業療法士の交流・認知症に対する啓発活動をさらに強化したいと考えている。具体的には①認知症の人と家族の会やその支援者と連携を図る事業の継続(共催イベントの実施・啓発活動の協力・集いへの参加)②認知症に携わる作業療法士の交流会(年1回)③県士会会員の地域での認知症関連の活動の実態に関する調査および報告④認知症に対する啓発活動の4項目を中心に進める予定である。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

今年度も兵庫県作業療法士会として、認知症の人と家族の会が主催する啓発活動/講演会のイベントを支援する。啓発活動では当委員会メンバーが参加し、街頭で啓発リーフレットを配布しながら、市民に認知症に対する理解を呼びかけた。また講演会では、士会員に情報提供することで多数の作業療法士の参加が見込まれる。



認知症の人とみんなが一緒に楽しむ「認知症ぶらぶらウォーキング」

2022年度から認知症の人と家族の会兵庫県支部と密にコミュニケーションを取り、協働で活動していく機会を増やしている。2023年度から実施している「みんなでぶらぶらウォーキング」を2026年度も実施予定である。イベントとしての活動ではあるが、企画会議を通じて認知症の人と家族の会との相互理解が進んでいると同時に、作業療法士(特に病院勤務の作業療法士)にとっては、認知症の方の活動や参加を臨床的に学ぶ貴重な経験の場となっているものと考ええる。また、イベントで関わった当事者の方やその家族の方に継続して作業療法士の関与が必要だと判断した場合は、各市町の地域包括支援センターとの連携を図る取り組みを計画中である。開催するたびに参加者が増加しており、今後の形を模索しながらの活動となる。



認知症に携わる作業療法士の交流会(認知症OTひろば)

2025年度に初めて実施した事業である「認知症に携わる作業療法士の交流会」を2026年度も継続予定である。これまで地域で認知症の方やその支援者を支援する作業療法士の人材育成に向けた研修をステップアップ形式で行ってきた。また認知症に限らず地域参画する作業療法士の数が増加傾向にあると推測される。認知症の支援に関しては基本的な知識を得たとしても具体的な介入方法にはある意味正解が無く、一種のアイデアのようなものも必要とされるなどクリエイティビティが求められる。また、時には組織を含めた環境調整も必要となるため、関与する作業療法士も様々な情報を渴望するとともに漠然とした不安に襲われることも少なくない。そのためピアカウンセリング的な交流の場が必要であると考え2025年度に実施した。2025年度の参加者は12名であり、精力的な意見交換がなされた。また、必要な時にすぐに相談・情報共有できるツールとしてLINEのオープンチャットを作成した。